



<会議録の閲覧>

本会議(定例会・臨時会)や常任委員会などの内容を記録した会議録は、議会事務局やインターネットなどで閲覧できます。(市議会ホームページ <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/gikai/>)

将来のまちづくりに向け、議論白熱

～教育・医療・産業などの課題に一般質問～

平成19年第4回定例会では、市長から条例の一部改正や補正予算など13件の議案が提案され、原案のとおり可決しました。
一般質問では、9人の議員が市政の重要課題について理事者の見解をただし、13日に閉会しました。

定例会の概要

12月6日～13日

第4回定例会は、12月6日に開会し、議案説明員の変更や監査結果などの報告を受けました。

続いて、条例の一部改正や補正予算など13件の議案が市長から提案され、それぞれ文教民生・事業・総務常任委員会にその審査を付託しました。

7月11日に開かれた各常任委員会では、付託された議案の審査を行い、原案を可決したほか、所管事項についても質問を行いました。

なお、11日の総務常任委員会では、人事院勧告を受け提案された議案第92号「一般職の職員の給与に関する条例の一部改正」で、原案に対する反対討論と賛成討論があり、起立表決を行った結果、賛成多数で原案を可決しました。

12日の本会議では、委員会審査を終えた議案(議案第92号を除く)について、各委員会から審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決しました。

第92号を除くについて、各委員会から審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決しました。
議案第92号については、総務常任委員会から審査結果の報告を受け、討論が行われました。「120億円の収支不足を人件費の削減を柱に財政再建する必要がある」という反対討論と、「9年ぶりのプラス勧告の内容は若年層が対象で、少子化対策として実施する必要がある」という賛成討論があり、起立表決を行った結果、賛成多数で原案を可決しました。

全国学力テスト

本市の課題と取り組みは



その他の質問
○携帯電話やパソコン使用の生活指導について
○教育3法の改正による教育委員会の取り組みについて

平成20年第1回定例会 議会を傍聴しませんか

傍聴される人は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

- ▶ 2月26日(火) 本会議
- ▶ 2月27日(水) 文教民生常任委員会
- ▶ 2月28日(木) 事業常任委員会
- ▶ 2月29日(金) 総務常任委員会
- ▶ 3月4日(火) 本会議
- ▶ 3月7日(金) 本会議
- ▶ 3月10日(月) 本会議
- ▶ 3月11日(火) 予算特別委員会(土・日は休会)
- ▶ 3月21日(金) 本会議

※日程は変更される場合があります。
※2月29日、3月13、18日の会議は午後1時に、他の会議は午前10時に開会予定。

南海地震などに備え

避難所運営マニュアルの作成は

その他の質問
○総合評価簿方式の導入について
○AEDの講習会の計画とその進捗状況について

「ユール」を作成していないことが多かったため、運営面において混乱が生じたという。
本市の運営マニュアルについて聞いた。
【答】職員の配備体制・役割、避難誘導、避難所の開設や運営などの初期活動を進めた「災害応急対策職員定めたマニュアル」を作成し、全職員に配布している。
避難所では、職員が運営責任者となり、地域住民やボランティアの協力を得ながら運営する必要がある。平成20年度を目途に、職員初動マニュアルの見直しや地域住民なども活用できるマニュアルを作成する。

【問】避難所としての学校の施設の機能と、今後の取り組みについて聞いた。
【答】「避難所としての学校の施設の機能と、今後の取り組みについて聞いた。」



見出しが予定されている初動マニュアル

福祉センターの敷地活用は 市全体でまちづくりを考えて

【問】福祉総合センターは、の議論の中で十分検討を重ねてきた。
【問】市民病院の平成18年度決算では、一般会計から17億5千万円の繰入金があるにもかかわらず、4億5千万円の赤字となっている。市民病院を公営民営化してはどうか。
【答】決算の赤字部分は診療報酬のマイナスイ改訂の影響が大きい。また、一般会計からの繰入金は法令に規定されたもので、赤字を補てんするためのものではない。市民病院の果たすべき役割は、採算性などの面から民間医療機関では困難な救急・小児医療などを提供することであり、救急受入れ年間約5千件、病床利用率97・2%など、地域における急性期医療を提供する中核病院として真に必要な施設と考える。今後、さらに経営の効率化を図りながら持続可能な病院経営に努めていく。



老朽化した福祉センター

【問】センターの敷地活用については、新センターと民間施設を複合的に整備することで、多様な相乗効果を生み出したい。
本市を活性化するため、敷地活用については、今後、